

ずいひつ No.87

2012年11月14日発行

読書週間特別イベント/中村航さん(作家)トークショー
&サイン会(入場無料)

中村航さんは「100 回泣くこと」(2013 年映画化される)の原作者
で、最新作「トリガール!」など著書多数。

日時: 2012年11月2日(金) 午後6時~7時30分

場所: 愛知学院大学楠元キャンパス 4号館2階講義室(4201)

参加希望の方は、下の①~④を下のアドレスに送信してください。

- ① 氏名
- ② 学部学科(学年) or 所属部課
- ③ 過去に読んだことのある中村航氏の著書
- ④ 中村航さんへの質問(必ず書く)

申し込みアドレス: rirekishonakamurako@yahoo.co.jp

締め切りは2012年10月31日(水)までです。

希望者多数の場合、定員になり次第締め切ります。

主催: 愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター

中村航さんトークショーとサイン会のこと

このイベントの構想を練り始めたのは、お盆前に開催された日本医学図書館協会基礎研修会が終了したころでした。

110年以上の歴史のある愛知学院から、作家と呼ばれる人を出したいという願いを、私はかなり前から持っていました。以前から名前だけは知っていた中村航さんという現役の作家と在校生がふれあうことで、作家という職業にあこがれ、学院から作家の誕生ということにでもなれば、とても嬉しいと思いました。

中村さんのホームページを見ると、作家デビュー10周年で、何かやりたい(blog2月13日分)ということでした。

中村さんに全国各地で何回もやっている得意のトークショーを、愛知学院でもやってもらうことにしました。ホームページを通じて、連絡とか相談をすることにしました。

日程が決まったら、次は広報でした。

愛知学院の在校生教職員には、WebCampus という愛知学院専用のメール送信ソフトを使わせてもらいました。図書館にはチラシを置いてもらい、ポスターは楠元キャンパスの歯学部、薬学部、短大、タイムカードの前や通路の掲示板に張らせてもらいました。

参加者は学外からも募りました。広報を始めた日と前後して、中村航さんのホームページにも、愛知学院で開催する旨のblogが書かれ、参加申し込みのメールがぼちぼち届き始めました。東は、埼玉や群馬、西は神戸から申込があり、ファン層の広さに驚きました。

最終的に参加希望者数は61名でした。

当日午後5時過ぎに地下鉄本山駅に現れた中村さんは、Google画像でみる「中村航」さんそのままでした。

開催時間までは事務所で待機し、ショーの打ち合わせとか図書館用の色紙を書いてもらったりしました。6時過ぎに、予定どおりトークショーが始めました。

中村さんが、予め参加者からいただいた質問に答えるというトークショーに、参加者は一言一句漏らさず聞き入るというような態度でした。

その後、参加者全員で集合写真を撮り、サイン会に移りました。参加者のほとんど全員の長い列ができました。ひとりひとりの名前を中村さんの著作にサインし握手していたら、終了予定時間を過ぎて、8時になってしまいました。

会場をあとにする参加者の顔は、みな輝いているようにみえました。

(文責 事務長)

